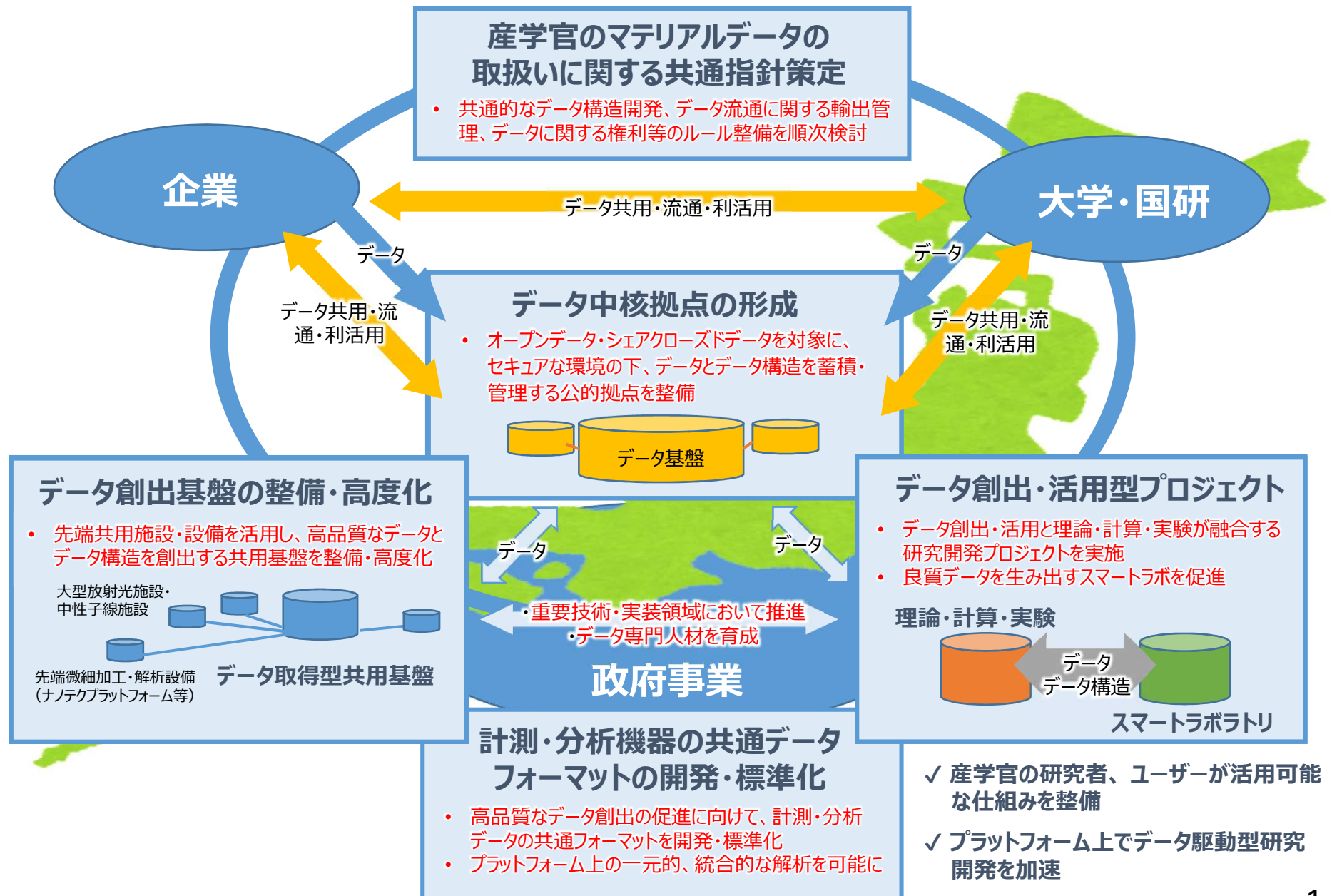


# データを基軸としたプラットフォームを 活用した研究開発の進め方について

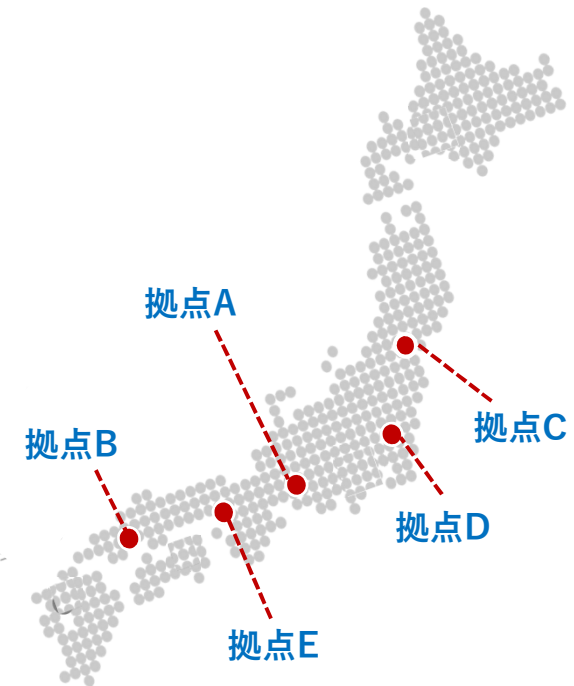
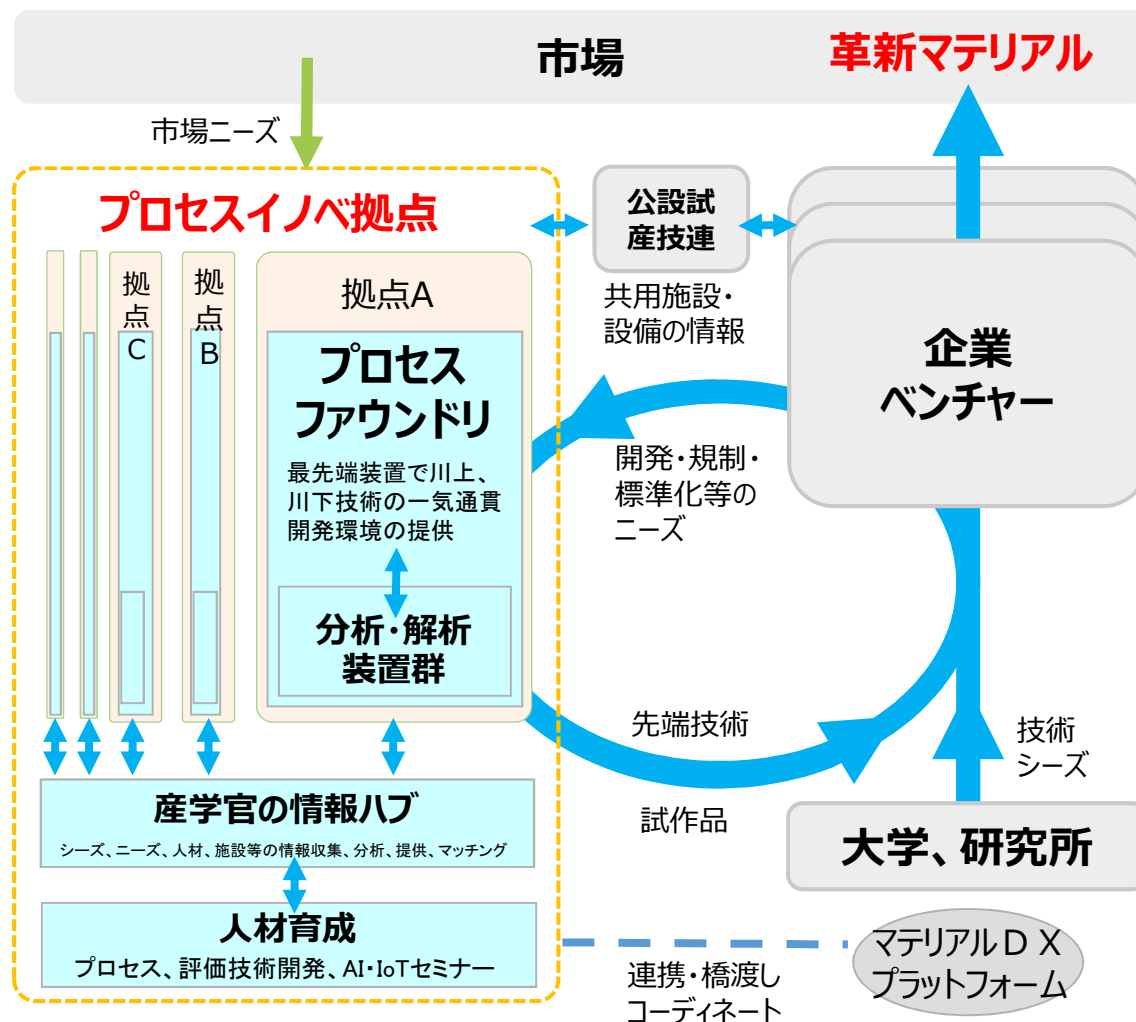
事務局説明資料

# データを基軸としたマテリアル研究開発のプラットフォーム整備（案）



# マテリアル・プロセスイノベーション拠点の構築（案）

- 日本が強みを有するプロセス技術の高度化を下支え・支援する機能を中核とした、マテリアル・プロセスイノベーション拠点を構築。
- 中小企業やベンチャー等が活用する最先端のプロセスファウンドリなど、マテリアル開発・実装の加速化に必要な技術シーズ・ニーズ、装置、人材に係る各種情報・支援機能を総合的に集約、提供する拠点を地域産業群の特色に併せて形成。



- 地域産業群の特徴を踏まえた拠点を形成。
- 技術・人材等の集積・循環を通じ、革新マテリアルの開発と実装の加速化、地域産業の活性化を実現。

<拠点の位置や拠点数はイメージ>

# プラットフォームを活用した研究開発の進め方（論点）

- 重要技術・実装領域の研究開発の推進に当たって、データを基軸とした研究開発のプラットフォームや、プロセスイノベーション拠点の有効活用した統合型プロジェクトを推進し、データの創出・活用、人材の育成、研究開発成果の普及・展開に係る施策を総合的に進めていくべきではないか。
- 統合型プロジェクトの仕組みとして、以下のようなスキームが考えられるのではないか。

- ✓ 基礎研究から社会実装までの時間が長く、多種多様なステークホルダーが関与する、といったマテリアルの特徴を踏まえ、研究の初期段階から産学官のステークホルダーがプロジェクト全体のビジョンを共有。
- ✓ スピード感を持って一つの社会実装を目指すバックキャスト型研究開発と、重要技術の育成を目指すフォアキャスト型研究開発のうち、特にデータ創出・活用型プロジェクトとして実行することで大きなブレークスルーが期待できる双方の研究開発課題を特定・抽出。
- ✓ データ中核拠点、データ創出基盤、プロセスイノベーション拠点との密な連携体制の下で当該課題に集中的な支援を実施。

